



三井海洋開発株式会社
第40回 定時株主総会 事業報告

2025年12月期 事業の成果と経営成績

EPCI事業

<受注済み案件>

- 2023年受注の2件（ExxonMobil Uaru FPSO、Equinor Raia FPSO）の建造工事は堅調に進捗
- Equinor Bacalhau FPSOが原油生産を開始（2025年10月）



FPSO Bacalhau

<新規受注案件>

- 2件を受注（Shell Gato do Mato FPSO：2025年3月、ExxonMobil Hammerhead FPSO：同9月）
- EPCI事業の受注残高は過去最高水準になると共に、売上収益、売上総利益にも貢献
- 東洋エンジニアリング株式会社との合併会社であるOffshore Frontier Solutions（"OFS"）のマレーシア拠点及びインド拠点を予定通り開所、EPCI遂行能力を更に強化

チャーター事業 / O&M事業

- 既存フリートは安定した操業を維持

操業中FPSOの稼働率（中央値）

2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
98.7%	96.4%	97.9%	98.5%	97.6%	98.7%	98.7%

- 新規受注EPCI案件のO&M契約もあり、O&M事業の受注残高も過去最高水準
- 古い契約から新しい契約への置き換えが進捗

Fluminense	2024年6月にO&Mサービス終了
MV12	チャーター契約終了、2024年11月に傭船者に売却完了
MV10	チャーター契約終了、2025年2月に傭船者に売却完了
MV18	生産終了、撤収作業を2024年1月に開始
MV20	生産終了、撤収作業を2025年1月に開始
Sangomar	2024年6月にO&Mサービス開始
Bacalhau	2025年10月にO&Mサービス開始
MV17	2025年9月にチャーター契約を2027年まで延長
MV22	2025年1月にチャーター契約を2030年まで延長

デジタル技術

生成AI等の最新デジタル技術と当社独自の設計・操業データを活用した、品質・納期・コスト・環境負荷の改善及び全体最適化の取り組みを推進

【EPCI事業】

AIを用いた設計データの品質管理・データ統合、シミュレーションやデータ処理の自動化、業務プロセスのデジタル化による、品質・生産性の向上、納期短縮、意思決定の迅速化・高度化

【O&M事業】

内製アプリケーションによる操業プロセスのデジタル化に加え、関連会社Shape社を通じて主に以下ソリューションを開発・運用、さらに顧客との共同開発も開始

- AIを用いた故障予知
- AIとデジタルツインを統合した回転機の運転最適化によるGHG排出量削減
- 操業データ統合によるプロセス安全性評価

FPSO脱炭素化の推進

<CO₂回収設備>

- FPSO上のガスタービンから排出されるCO₂の回収に、従来設備と比べ小型化・低重心化が可能な他、動揺に対する回収性能変化が少ない“CycloneCC”の開発をCarbon Clean Solutions社（英国）と推進
- 2027年の海上試験開始を目指す



<FPSO搭載用SOFC>

- 燃料を燃焼させるのではなく化学反応により電気に変換する固体酸化物形燃料電池（Solid Oxide Fuel Cell）のFPSO上での実用化を目指し、Eld Energy社（ノルウェー）及びDelta Electronics社（台湾）と共同開発を推進
- 従来のガスタービン発電設備に比べ高効率かつCO₂の分離が容易であり、CO₂回収設備と組み合わせ、稼働率を損なわず大幅な脱炭素化を狙う
- SOFC単体では2026年の海上試験開始、CO₂回収設備との組み合わせでは2027年の陸上運用試験及び2028年以降の海上試験実施を目指す



新事業具現化への布石

<浮体式原子力発電>

- 電力需要増と脱炭素の双方に対応しつつ当社の船体設計・係留技術を活かすべく、浮体式原子力発電（数百MW～GW級想定）の開発をAdvanced Float株式会社と推進



<LCO₂ FSIU（浮体式液化CO₂貯蔵・圧入ユニット）>

- 液化CO₂（LCO₂）を輸送船から洋上で受け入れ、高圧で海底の貯留層に注入する設備（Floating Storage and Injection Unit）の基本設計承認を取得



<浮体式洋上風力発電>

- 低揺動で設置場所を選ばず、陸上での組み立ても容易にする“i-TLPTM2”（イノベーティブ緊張係留式プラットフォーム）の基本設計承認を取得



<ブルーアンモニアFPSO>

- 原油生産に伴う余剰随伴ガスからアンモニアを生産するアンモニアFPSOの基本設計承認を、東洋エンジニアリング株式会社と共同で取得





売上収益

4,581百万米ドル

- 上方修正後の通期業績予想に対して104%
- 前年同期比395百万米ドル (+9%) の増加

当期利益

360百万米ドル

- 上方修正後の通期業績予想に対して102%
- 前年同期比140百万米ドル (+63%) の増加

調整後EBITDA

440百万米ドル

- 前年同期比112百万米ドル (+34%) の増加

受注残高

18.5十億米ドル

- 前年末比5.6十億米ドル (+43%) の増加
- 他、持分法適用会社における受注残高 (チャーター事業関連) あり



**EPCI、O&M、チャーターの3事業とも堅調に推移、
2期連続で過去最高益を更新**

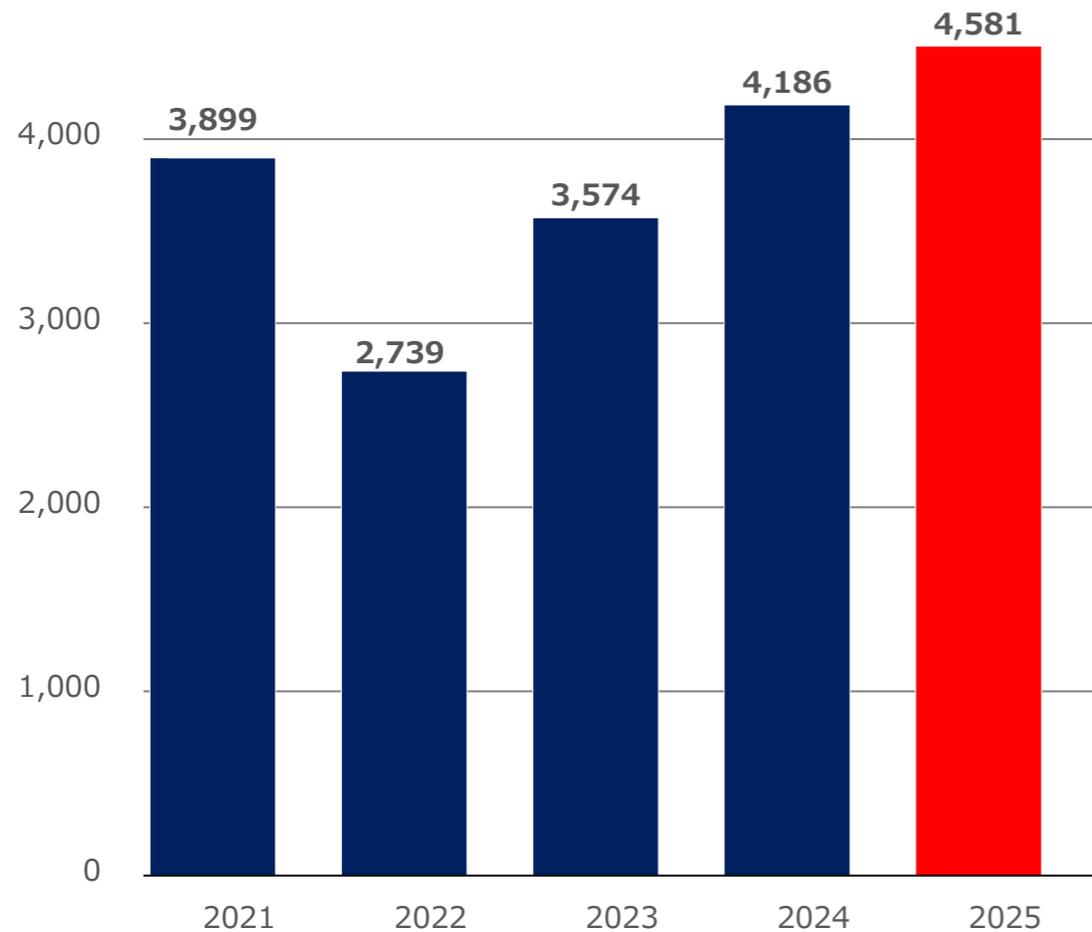
事業の成果と経営成績

売上収益、当期利益の推移



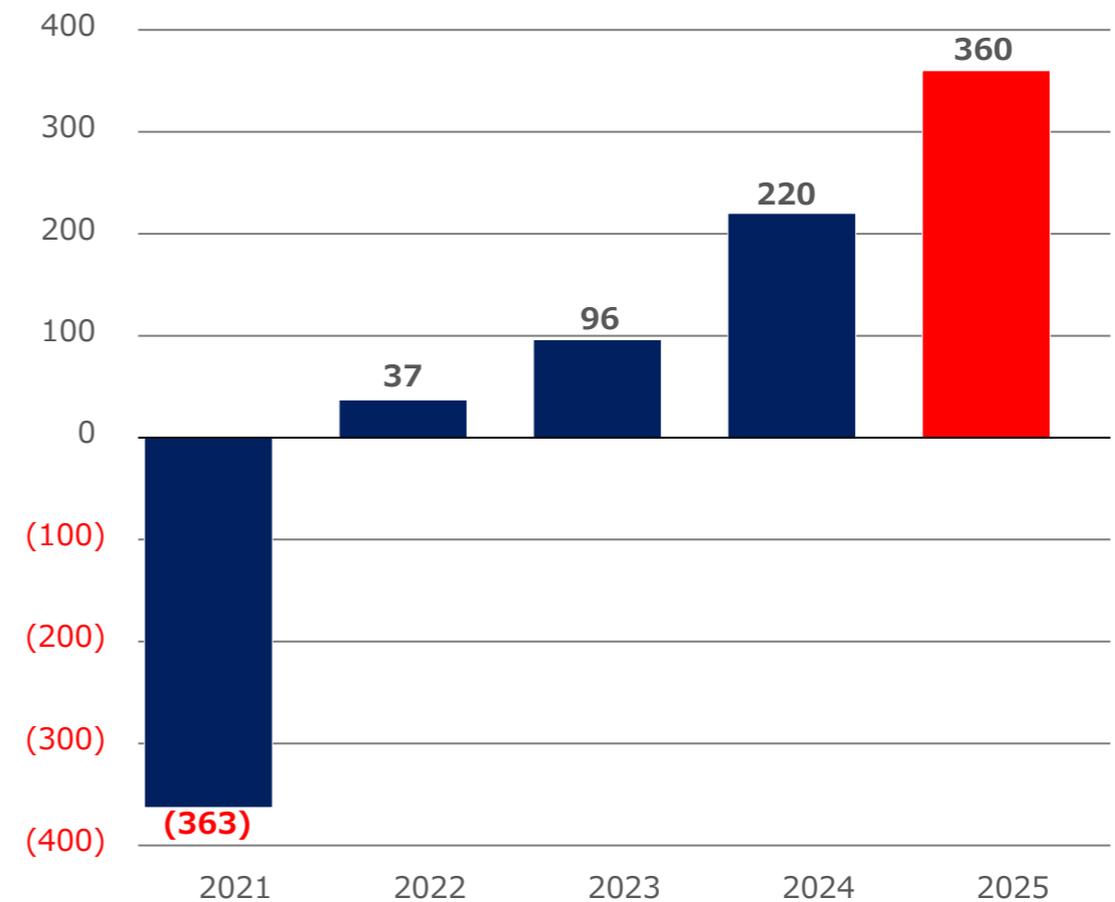
売上収益

(百万米ドル)

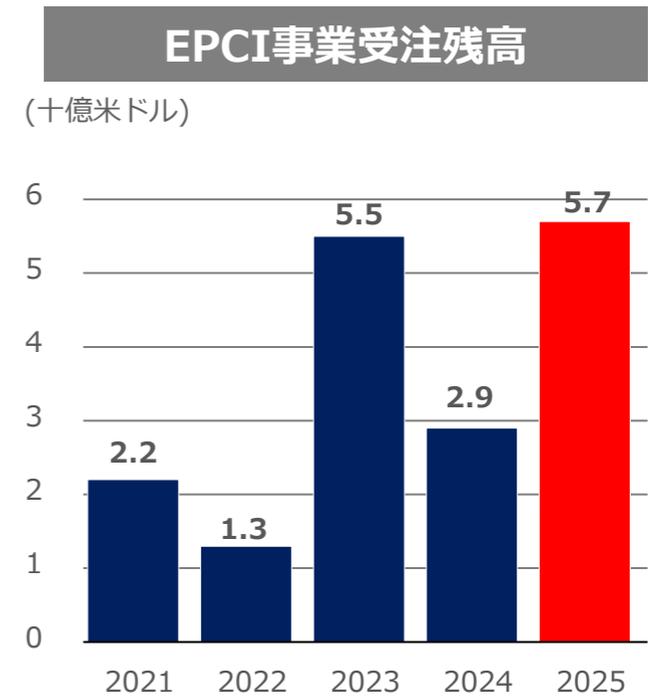


当期利益

(百万米ドル)



	FPSO Uaru	FPSO Raia	FPSO Gato do Mato	FPSO Hammerhead
顧客	ExxonMobil	Equinor	Shell	ExxonMobil
契約形態	EPCI + O&M (10年)	EPCI + O&M (1年)	EPCI + O&M (20年)	EPCI + O&M (10年)
生産開始 (予定)	2026年	2027年	2028年	2029年
鉱区	Stabroek	BM-C-33	Orca	Hammerhead
所在地	ガイアナ	ブラジル	ブラジル	ガイアナ
水深	1,690 m	2,900 m	2,000 m	1,025 m
貯油能力 生産量	2,000,000 bbls 250,000 bopd 540 mmscfd	2,000,000 bbls 125,000 bopd 565 mmscfd	850,000 bbls 120,000 bopd 360 mmscfd	1,600,000 bbls 150,000 bopd -



EPCI/チャーター/O&M案件一覧

2025年12月末時点



#	Current Stage	(%) ¹	Ship Name	Offtakers	Asset Location	Charter Start Date	Charter End Date	2004	2006	2008	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022	2024	2026	2028	2030	2032	2034	2036	2038	2040	2042	2044	2046	2048	2050
1	EPCI	-	FPSO Hammerhead - 新規受注 (Sep '25)	ExxonMobil		-	-																								
2	EPCI	-	FPSO Gato do Mato - 新規受注 (Mar '25)	Shell		-	-																								
3	EPCI	-	FPSO Raia	Equinor		-	-																								
4	EPCI	-	FPSO Uaru	ExxonMobil		-	-																								
1	Charter	32.5%	FPSO Anita Garibaldi MV33	Petrobras		2023	2048																								
2	Charter	35.0%	FPSO Almirante Barroso MV32	Petrobras		2023	2044																								
3	Charter	35.0%	FPSO MIAMTE MV34	Eni Consortium		2022	2037																								
4	Charter	29.4%	FPSO Guanabara MV31	Petrobras Consortium		2022	2044																								
5	Charter	29.4%	FPSO Carioca MV30	Petrobras Consortium		2021	2042																								
6	Charter	29.4%	FPSO Cidade de Campos dos Goytacazes MV29	Petrobras Consortium		2018	2038																								
7	Charter	25.0%	FPSO Prof. John Evans Atta Mills MV25	Tullow Consortium		2017	2027																								
8	Charter	29.4%	FPSO Cidade de Caraguatatuba MV27	Total Consortium		2016	2036																								
9	Charter	29.4%	FPSO Cidade de Itaguaí MV26	Petrobras Consortium		2015	2035																								
10	Charter	29.4%	FPSO Cidade de Mangaratiba MV24	Petrobras Consortium		2014	2034																								
11	Charter	34.0%	FPSO Cidade de Sao Paulo MV23	Petrobras Consortium		2013	2033																								
12	Charter	42.5%	FPSO Cidade de Angra dos Reis MV22	Petrobras Consortium		2010	2030																								
13	Charter	70.0%	FPSO Cidade de Santos MV20 - in decommission	Petrobras		2010	-																								
14	Charter	67.0%	FPSO Cidade de Niteroi MV18 - in decommission	Petrobras		2009	-																								
15	Charter	65.0%	FSO Rang Dong MV17	JVPC Consortium		2008	2026																								
16	Charter	40.6%	FSO Cidade de Macae MV15	Petrobras		2007	2027																								
1	O&M	-	FPSO Bacalhau - O&M started in Oct '25	Equinor		-	-																								
2	O&M	-	FPSO Sangomar - O&M started in Jun '24	Woodside		-	-																								
3	O&M	-	FPSO Rarua	OMV		-	-																								
4	O&M	-	FPSO Pyrenees Venture	Woodside		-	-																								
-	O&M	50.0%	FPSO Baobab MV10-in refurbishment(sold in Feb'25)	CNR Consortium		2005	2025																								

2025年12月末時点

- EPC(I) 期間
- Charter 確定期間
- Charter オプション期間
- O&M 期間

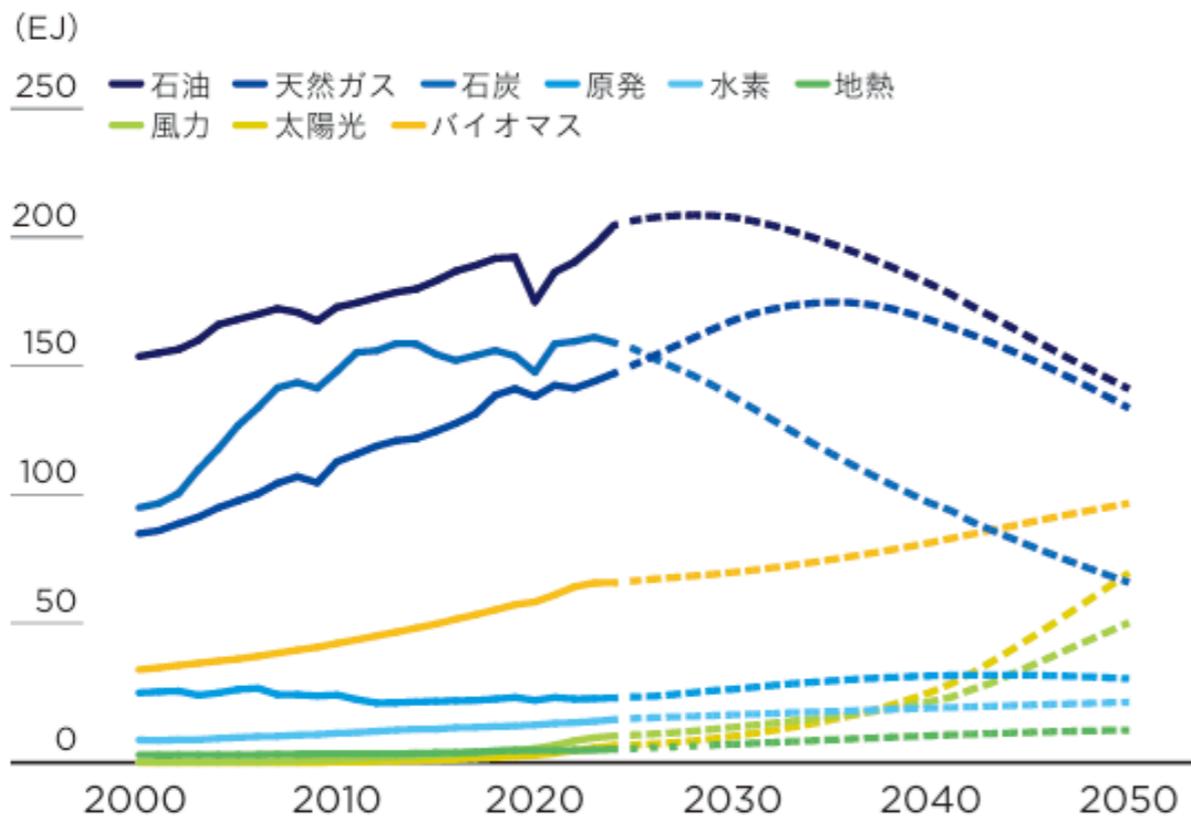
注記:

1. (%) 当社のグループ会社の出資比率 (持分法適用会社)

事業環境および今後の見通し

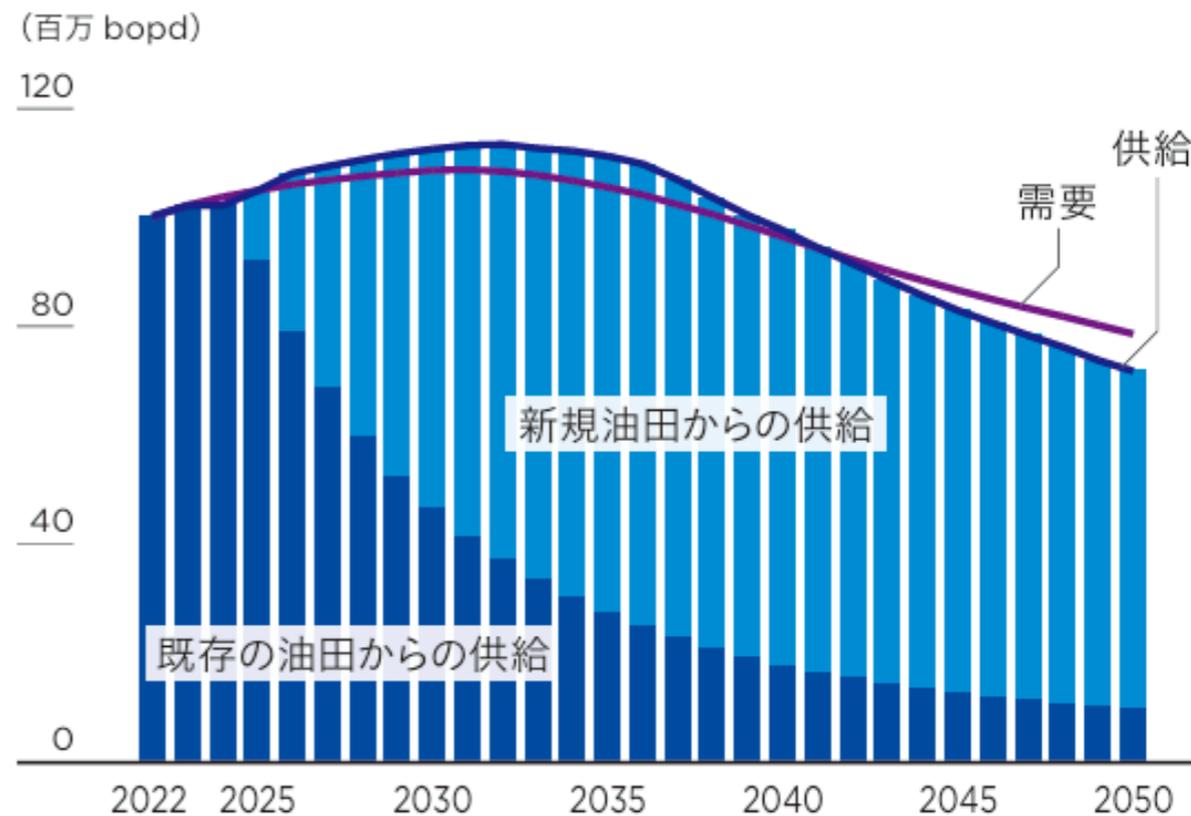
エネルギー供給の持続的拡大が求められる中、代替エネルギーの供給も増加する見込みながら、Oil & Gasは今後も主要なエネルギー源と予想

エネルギーの種類別供給量



出所：Rystad Energy December 2024

石油の需要と供給



出所：Rystad Energy December 2024

今後の見通し

豊富なグローバルパイプライン (計画中プロジェクト数)



FPSOの案件数は引き続き豊富

- 当社が得意とする超大水深 (2,000m超)に多数存在
- 豊富な実績を持つ中南米、西アフリカにも多数存在

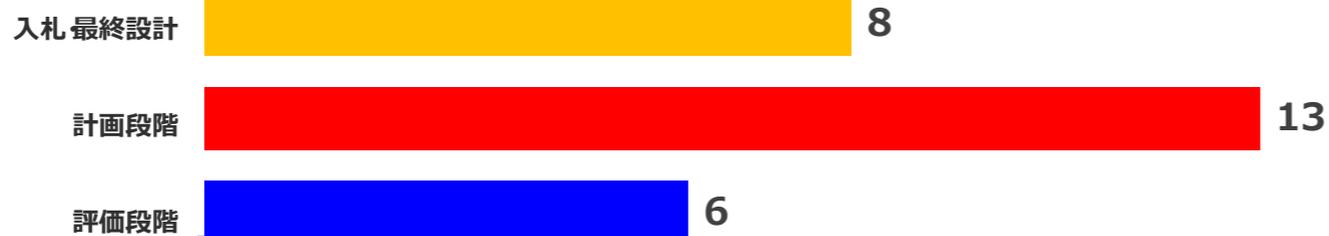


水深別パイプライン

浅海
31



大水深
27



超大水深
40



業績予想

2026年12月期 業績予想

2026年12月期 通期業績予想

- ✓ EPCI事業 : 2025年度に受注したGato do Mato / Hammerheadの建造工事が進捗
- ✓ O&M事業 : フリート全体において安定的なパフォーマンスを継続
- ✓ チャーター事業 : 2025年度に発生した一過性コストが解消
- ✓ 上記各事業で増益を見込みつつ、研究開発、事業開発、デジタル技術など将来の成長に繋がる分野への投資を増加

(百万米ドル)

	2025年度 実績	2026年度 予想	増減
売上収益	4,581	4,600	+ 19
営業利益	437	460	+ 23
税引前利益	508	500	- 8
親会社の所有者に 帰属する当期利益	360	370	+ 10
調整後EBITDA	440	450	+ 10

2026年12月期 株主還元

2025年度 期末配当

- ✓ 2025年度の期末配当については、1株当たり80円とすることを本定時株主総会に付議

2025年度
中間配当：60円（実績）
期末配当：**80円（予定）**

2026年度 配当予想

- ✓ 2026年度の配当については、1株当たり60円増額、200円を予定

<u>2025年度</u>		<u>2026年度</u>
中間配当：60円（実績）	➡	中間配当： 100円（予定）
期末配当：80円（予定）		期末配当： 100円（予定）



THE OCEAN IS FULL OF POTENTIAL